

建設発生土の 官民有効利用マッチングについて

3. 新たに取り組むべき重点施策

(7) 建設発生土の有効利用・適正処理の促進強化

建設発生土については、場外搬出量が土砂利用量を定常的に上回っており、その約半数は、建設工事のみでは有効利用できていない状況となっているため、**更なる建設発生土有効利用策を講ずる**ことが必要である。

そもそも建設発生土については、**当該事業者がその発生抑制、再使用、適正処理に取り組むことが必要であるが、国としても事業者支援の観点から工事間有効利用の促進**について取り組むことも必要である。

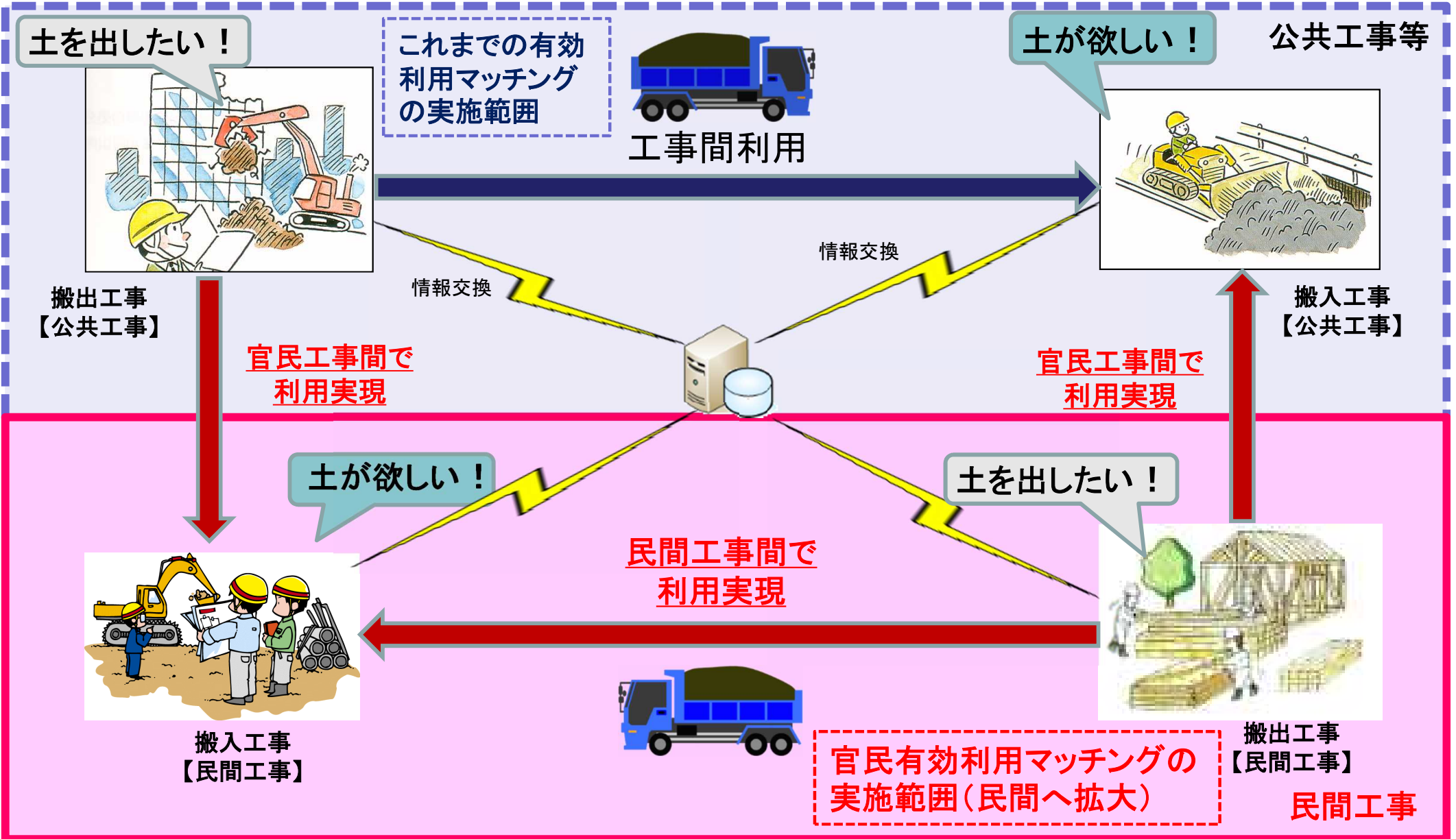
①建設発生土の更なる有効利用を図るため、**官民一体となった発生土の相互有効利用のマッチング**を強化するためのシステムを構築し、民間も含めた受発注者に対してシステムへの参画を働きかける。

情報登録およびマッチングについては、

1) 建設発生土の場外搬出者はまだ搬出先が決まっていない土の発生場所、土量、土質、搬出予定時期等をシステムに登録し、建設発生土の利用希望者は利用場所、利用量、土質、利用希望時期、利用方法等をシステムに登録する。その際、土質の品質証明については基本的に搬出側が行い、システム登録するものとする。

7) システムの確立にあたっては、建設業界に**民間開発事業も含めた情報登録**を依頼し、当初は一部地域でシステム試行運用し、課題抽出の上、データ入力や費用面で過度な負担がかからないよう配慮し、本格運用を行う。

■これまで公共工事間で実施していた「土量情報の交換」を民間工事に拡大)



『建設リサイクル推進計画2014』(国交省:H26. 9)

3. 新たに取り組むべき重点施策

(7) 建設発生土の有効利用・適正処理の促進強化

① **官民一体**となった建設発生土の**有効利用マッチング**を強化するためのシステム構築

【平成26年度】

- 検討ワーキングの設置
- 『建設発生土の官民有効利用試行マッチング実施要領』を作成
- 情報交換用システム構築(情報交換用ホームページの作成)

試行開始【H27. 6. 11より】

【平成27年度】

- 関係者への周知(行政、日建連、全建)
- 成立・不成立事例の収集分析
- 課題の抽出と対応策の検討
 - 【課題①】民間工事受注者の参画促進の強化
 - 【課題②】調整の阻害要因の低減

【平成28年度】

- 試行マッチングへの参画方法[解説]、「マッチングQ&A」を作成
- 日建連加盟企業のうち、未参画企業と意見交換
- 埼玉県・岐阜県建設業協会の理事会における説明
- 参画意向のアンケートを実施(日建連)

1. 目的
2. 適用範囲
3. 定義
4. 建設発生土官民有効利用試行マッチングの実施方法
 - 4.1 試行マッチングのための事前登録
 - ※参画資格等を規定
 - ① 日建連加盟企業
 - ② 全建加盟企業(各県建設業協会加盟企業)
 - ③ ①②に推薦された土工事業者
 - ④ その他事務局が認める者
 - 4.2 建設発生土搬出予定工事および土砂利用希望工事の情報登録方法
 - ※土量情報の登録方法等を規定
 - ① 所定フォーマットの形式(MSエクセル形式)で情報を作成
 - ② メールにて事務局に送付
 - ③ 事務局は、土量情報を専用ホームページに掲載
 - 4.3 搬出予定工事・利用希望工事の情報確認方法
 - ※専用ホームページを活用し、公共工事、民間工事の土量情報を確認
 - 4.4 個別マッチング調整の実施方法
 - 4.5 マッチング調整結果の登録方法

トップページ

建設発生土の官民有効利用の試行マッチングホームページ

建設発生土官民有効利用試行マッチング事務局
国土交通省総合政策局 公共事業企画調整課 環境・リサイクル企画室
国土交通省大臣官房 公共事業調査室

トップページ **ログイン** 参加登録/利用手続き FAQ お問い合わせ

Windows セキュリティ

The server matching.recycle.jacic.or.jp is asking for your user name and password. The server reports that it is from Login.

ユーザー名

パスワード **入力**

資格情報を記憶する

OK キャンセル

トップページ

建設発生土の官民有効利用の試行マッチングは、国土交通省が平成26年5月に策定
において新たに取り組むべき重点施策の一つとして位置付けている建設発生土の有効利
官民一体となった建設発生土の相互有効利用のマッチング調整に必要となる情報提供を。

試行マッチングの実施要領については、こちらからダウンロードしてください。
試行マッチング実施要領

試行マッチングの参画方法[解説]については、こちらからダウンロードしてください。
試行マッチングの参画方法[解説]

ダウンロード画面

建設発生土の官民有効利用の試行マッチングホームページ

建設発生土官民有効利用試行マッチング事務局
国土交通省総合政策局 公共事業企画調整課 環境・リサイクル企画室
国土交通省大臣官房 公共事業調査室

トップページ ログイン 参加登録/利用手続き **FAQ** お問い合わせ

1. 土量データ提供のお願い

次のような発生土量がある方は事務局まで下記のご連絡ください。

- 他の工事(公共工事または民間工事)に建設発生土を搬出した。
- 他の工事(公共工事または民間工事)の建設発生土を利用したい。

2. 工事利用調整データ

- 工事間利用を行う地方ごとに、データをダウンロードして活用してください。
- 試行マッチング情報の更新頻度は、月数回程度から年数回程度とさまざまです。このようなデータが登録されていることをご了承ください。

【最終更新日】

公共データ 2016年 7月 11日(月)

(搬出) 茨城県内、群馬県内、千葉県内、東京都内、山梨県内、新潟県内、富山県内、愛知県内、三重県内、滋賀県内、京都府内、兵庫県内、徳島県内、香川県内、愛媛県内、高知県内、佐賀県内、熊本県内、宮崎県内

(搬入) 兵庫県内、愛媛県内、福岡県内、熊本県内

民間データ 2016年 7月 11日(月)

(搬出) 静岡県内、福岡県内、大阪府内

- 2016/01/12
ダウンロードについてご意見を頂いたため、土量データのファイル名が重複しないよう変更しました。
例 : 03_関東地方_搬出_20160106.xlsx

地方名	搬入工事データ	搬出工事データ
北海道地方(北海道)	リンク	リンク
東北地方(青森県、岩手県、宮城県、秋田県、山形県、福島県)	ダウンロード	ダウンロード
関東地方(茨城県、栃木県、群馬県、埼玉県、千葉県、東京都、神奈川県、山梨県、長野県)	ダウンロード	ダウンロード
北陸地方(新潟県、富山県、石川県)	ダウンロード	ダウンロード
中部地方(岐阜県、静岡県、愛知県、三重県)	ダウンロード	ダウンロード
畿地方(福井県、滋賀県、京都府、大阪府、兵庫県、奈良県、和歌山県)	ダウンロード	ダウンロード
地方(鳥取県、島根県、岡山県、広島県、山口県)	ダウンロード	ダウンロード
四国地方(徳島県、香川県、愛媛県、高知県)	ダウンロード	ダウンロード
九州地方(福岡県、佐賀県、長崎県、熊本県、大分県、宮崎県、鹿児島県)	ダウンロード	ダウンロード
沖縄地方(沖縄県)	ダウンロード	ダウンロード

ページのトップへ戻る

Copyright © 2005-2015 JACIC. All Rights Reserved.

1クリック!
『見たい』

【 搬入工事 】

No	発注者名	施工場所	搬出入区分	土工期		土質区分	土量 (m3)	連絡先	
				開始	終了				
1	千葉市都市局	千葉県千葉市美浜区	搬入	2017年11月	2018年01月	第2種建設発生土	1,840	043-245-5800	建築部営繕課教育施設第 二班 鈴木
2	関東地方整備局千葉国道事務所	千葉県成田市	搬入	2016年07月	2017年03月	第1種建設発生土	20,000	043-285-0000	工務課 佐藤
3	千葉県旭市	千葉県旭市	搬入	2016年11月	2017年03月	第3種建設発生土	4,000	0479-62-5300	総務課地域安全班 中村
4	千葉県安房農業事務所	千葉県鴨川市	搬入	2015年10月	2018年03月	第2種建設発生土	135,000	04-7092-5600	鴨川地域整備課 山田
5	株式会社仲潮組	千葉県夷隅郡大多喜町	搬入	2016年10月	2016年12月	第3種建設発生土	8,000	0470-82-2600	工務課 佐々木

地方名	搬入工事データ	搬出工事データ
北海道地方(北海道)	リンク	リンク
東北地方(青森県、岩手県、宮城県、秋田県、山形県、福島県)	ダウンロード	ダウンロード
関東地方(茨城県、栃木県、群馬県、埼玉県、千葉県、東京都、神奈川県、山梨県、長野県)	ダウンロード	ダウンロード
北陸地方(新潟県、富山県、石川県)	ダウンロード	ダウンロード
中部地方(岐阜県、静岡県、愛知県、三重県)	ダウンロード	ダウンロード
近畿地方(福井県、滋賀県、京都府、大阪府、兵庫県)	ダウンロード	ダウンロード



2クリック!
『土がほしい』

【 搬出工事 】

No	発注者名	施工場所	搬出入区分	土工期		土質区分	土量 (m3)	連絡先	
				開始	終了				
1	関東地方整備局千葉国道事務所	千葉県千葉市中央区	搬出	2016年08月	2017年03月	第1種建設発生土	1,300	043-285-0300	工務課 佐々木
2	千葉県銚子漁港事務所	千葉県銚子市	搬出	2016年04月	2017年03月	第3種建設発生土	10,000	047-922-6500	工務課 田中
3	千葉県葛南港湾事務所	千葉県船橋市	搬出	2016年09月	2017年03月	第2種建設発生土	3,000	047-433-1800	建設課 山下
4	千葉県船橋市	千葉県船橋市	搬出	2014年10月	2019年09月	第2種建設発生土	12,000	047-436-2400	環境部クリーン推進課ご み処理施設整備室 佐藤
5	関東地方整備局千葉国道事務所	千葉県成田市	搬出	2015年04月	2017年03月	第3種建設発生土	40,000	043-285-0000	工務課 鈴木

➤ 参画者数

- 公共： 216機関
- 民間： 89社

➤ 登録工事件数

- 公共： 搬出： 4, 358件、搬入： 1, 209件
- 民間： 搬出： 38件、搬入： 8件

	公共工事		民間工事	
	搬出(千m ³)	搬入(千m ³)	搬出(千m ³)	搬入(千m ³)
東北	3,525	2,542	5	20
関東	12,624	3,198	38	25
北陸	1,303	279	0	50
中部	3,573	1,501	436	9
近畿	7,405	5,966	107	14
中国	1,242	121	2	0
四国	1,816	1,068	0	1
九州	4,329	1,499	105	0
沖縄	72	0	17	0
全国計	35,889	16,174	710	119

注1:北海道(公共)は、独自の土量情報交換システムを活用

注2:民間工事の登録工事件数・土量は、H27.6からの累計

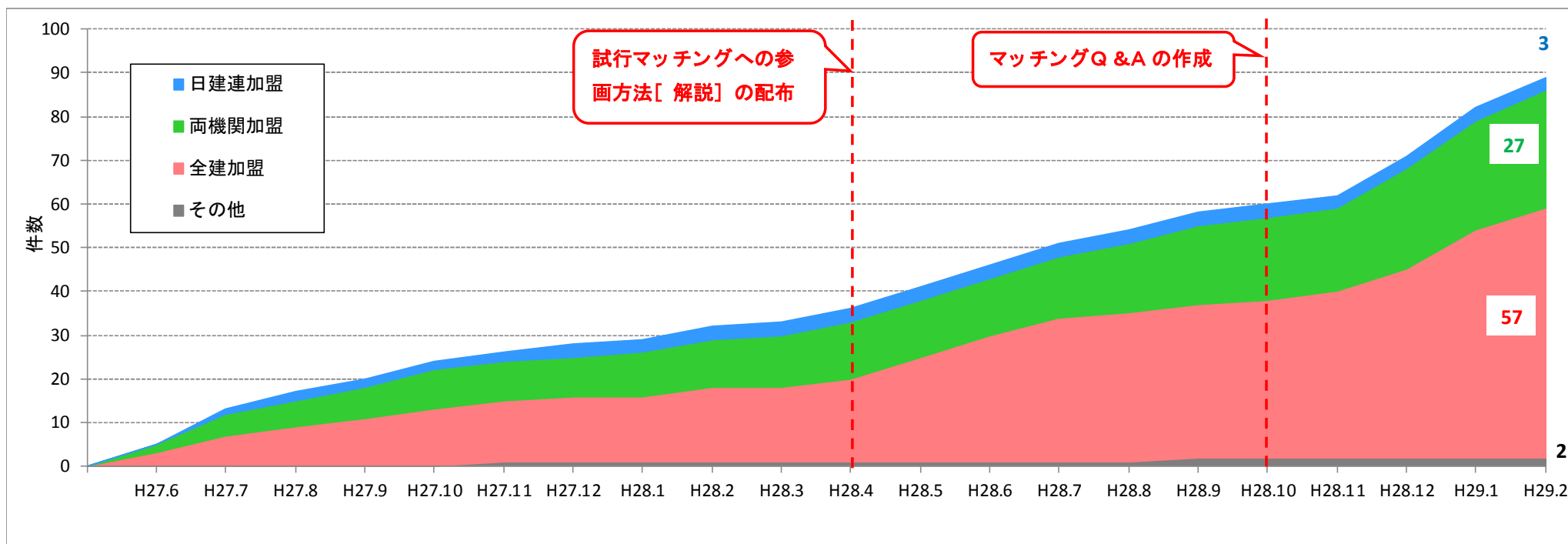
▶ 参画者数(民間)の推移

▶ 全体89社

(日建連3社 全建57社 日建連・全建両方27社 その他:JV1社、区画整理事業組合1社)

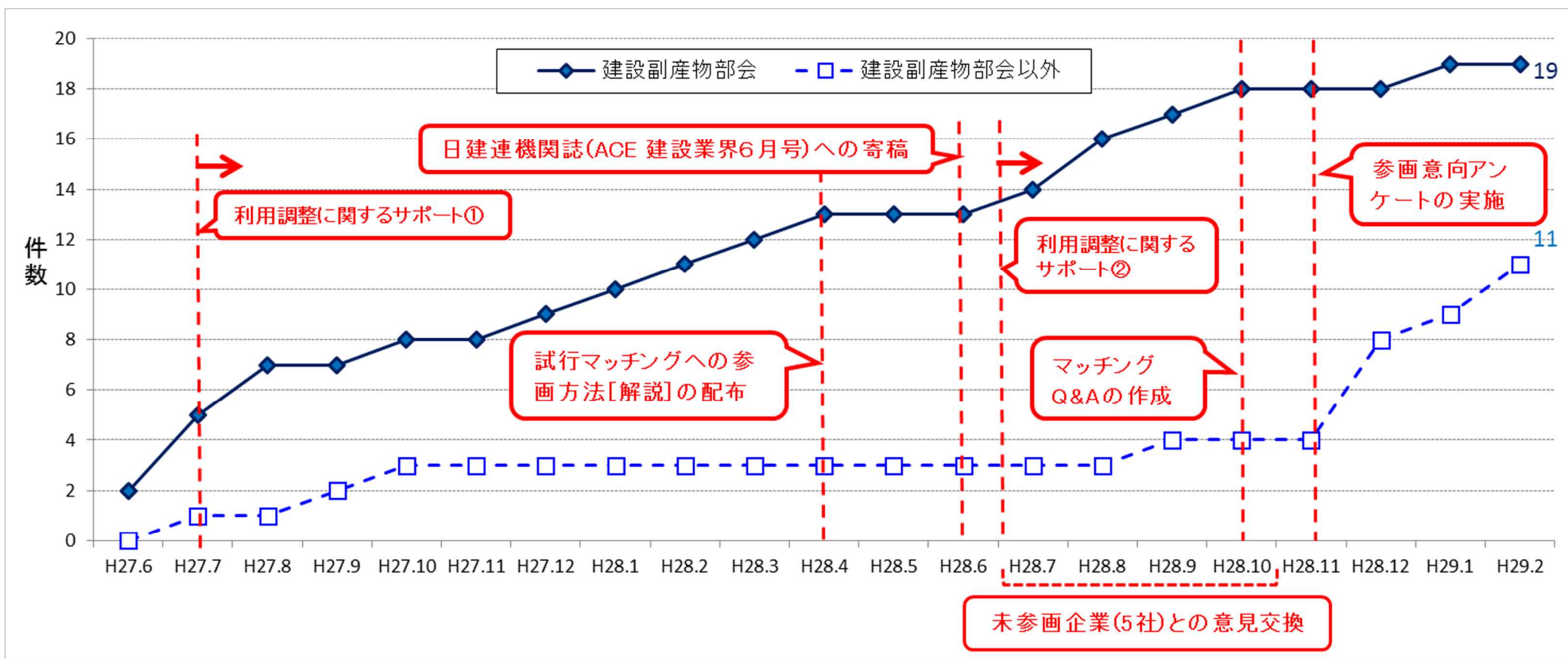
区分	平成27年度											平成28年度											合計
	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	小計	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	
日建連加盟	0	1	1	0	0	0	1	0	0	0	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3
両機関加盟	2	3	1	1	2	0	0	1	1	1	12	1	0	0	1	2	2	1	0	4	2	2	27
全建加盟	3	4	2	2	2	1	1	0	2	0	17	2	5	5	4	1	1	1	2	5	9	5	57
その他推薦	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	2
小計	5	8	4	3	4	2	2	1	3	1	33	3	5	5	5	3	4	2	2	9	11	7	89

30社



➤(一社)日本建設業連合会の内訳:建設副産物部会19社 部会以外11社

区分	平成27年度											平成28年度											合計
	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	小計	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	
建設副産物部会	2	3	2	0	1	0	1	1	1	1	12	1	0	0	1	2	1	1	0	0	1	0	19
建設副産物部会以外	0	1	0	1	1	0	0	0	0	0	3	0	0	0	0	0	1	0	0	4	1	2	11
小計	2	4	2	1	2	0	1	1	1	1	15	1	0	0	1	2	2	1	0	4	2	2	30



未参画企業(5社)との意見交換

- 意見交換における主な意見
 - ユーザーIDは、会社でひとつしか取得できないのか？
 - 試行マッチングへの参画登録を行うと、関係するすべての工事の情報を登録する必要があると思っていた。
 - 土質試験費、運搬費などの費用負担が不明瞭であり、マッチング調整が困難と考える。
 - 建築工事など、工期の制約が厳しい工事では、マッチング調整が困難である。

参画登録に慎重となる様々な疑問があることが判明



未参画企業の懸念を払しょくできるよう
「マッチングQ&A」を作成

【調整の阻害要因の低減】

■マッチングの実現促進を図るため、『利用調整に関するサポート』を試行実施。

●民間工事の工事登録があった場合

利用調整に関するサポート(当面)

サポート①公共工事発注者への再周知

- 近隣の公共工事発注者に対して民間工事の登録があったことを情報提供し、必要に応じて情報を更新するよう連絡。

サポート②希望する工事に対しては、マッチング促進に関する追加情報等を提供

- 運搬距離・土量等から相手候補として考えられる工事を抽出し、情報提供

マッチング促進に関する追加情報

➤ 希望する工事には、相手工事の候補リストを提供

当該工事(民間)の土量情報

■対象の民間工事(抽出)

No	工事間距離(km)	マッチング番号	業者コード	業者名	住所コード	施工場所	搬出入区分	情報ランク	土工期		土質区分	土量(m ³)	電話番号	部課係名	役職名	担当者名	備考
									開始	終了							
1	-	99900101	999	株式会社〇〇建設	12221	千葉県八千代市	搬出	計画数量の情報	2016年09月	2016年11月	第3種建設発生土	1,500	043-XXX-XXXX	工務部	主任	建設太郎	大型ダンプ利用可能

■マッチング候補工事一覧

No	工事間距離(km)	マッチング番号	機関コード	発注者名	住所コード	施工場所	搬出入区分	情報ランク	土工期		土質区分	土量(m ³)	電話番号	部課係名	役職名	担当者名
									開始	終了						
1	9	18172102	300120827	千葉県印旛郡市広域市町村圏事務組合	12232	千葉県白井市	搬入	計画数量の情報	2016年09月	2017年02月	第3種建設発生土	1,200	043-XXX-XXXX	水道企業部 工務課		
2	9	18172002	300120827	千葉県印旛郡市広域市町村圏事務組合	12232	千葉県白井市	搬入	想定数量の情報	2016年09月	2017年02月	第3種建設発生土	1,200	043-XXX-XXXX	水道企業部 工務課		
4	30	18192901	101830120	関東地方整備局江戸川河川事務所	11243	埼玉県吉川市	搬入	工事発注が済んだ時の情報	2016年11月	2017年02月	第3種建設発生土	14,900	047-XXX-XXXX	工務第一課		
5	32	17973801	101830030	関東地方整備局宮崎部	13117	東京都北区	搬入	工事発注が済んだ時の情報	2016年04月	2016年12月	第3種建設発生土	5,000	048-XXX-XXXX	整備課		
6	32	18125601	101830315	関東地方整備局東京第一宮崎事務所	13117	東京都北区	搬入	計画数量の情報	2016年07月	2016年12月	第3種建設発生土	1,500	03-XXXX-XXXX	保安指導・監督官室		
7	37	17240401	300120410	千葉県山武土木事務所	12403	千葉県山武郡九十九里町	搬入	計画数量の情報	2016年04月	2019年03月	第3種建設発生土	100,000	0475-XX-XXXX	河川改良課		
8	37	17240501	300120410	千葉県山武土木事務所	12403	千葉県山武郡九十九里町	搬入	計画数量の情報	2016年09月	2019年03月	第3種建設発生土	17,700	0475-XX-XXXX	河川改良課		
9	37	17240601	300120410	千葉県山武土木事務所	12403	千葉県山武郡九十九里町	搬入	計画数量の情報	2016年08月	2019年03月	第3種建設発生土	30,000	0475-XX-XXXX	河川改良課		

距離近く
土量満たす
次点候補
その他

相手工事の土量情報

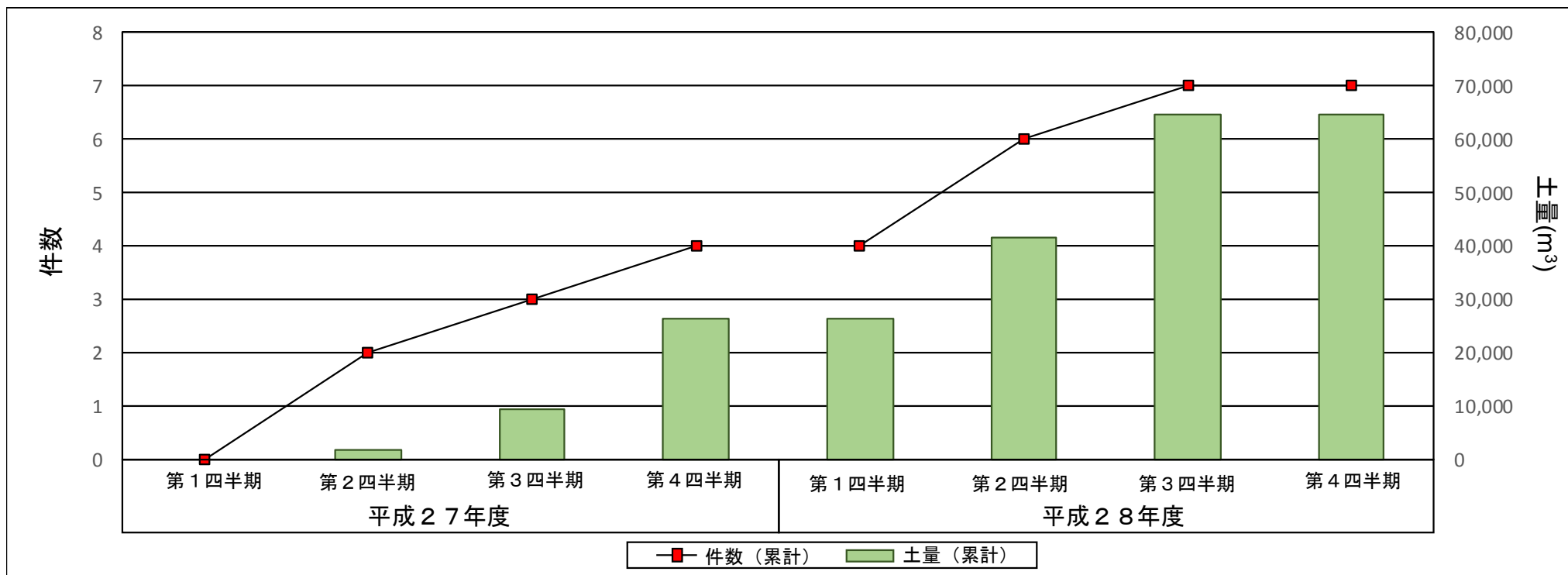
②情報の追加
当該工事からの相手工事までの工事間距離(直線距離50km以内で抽出)

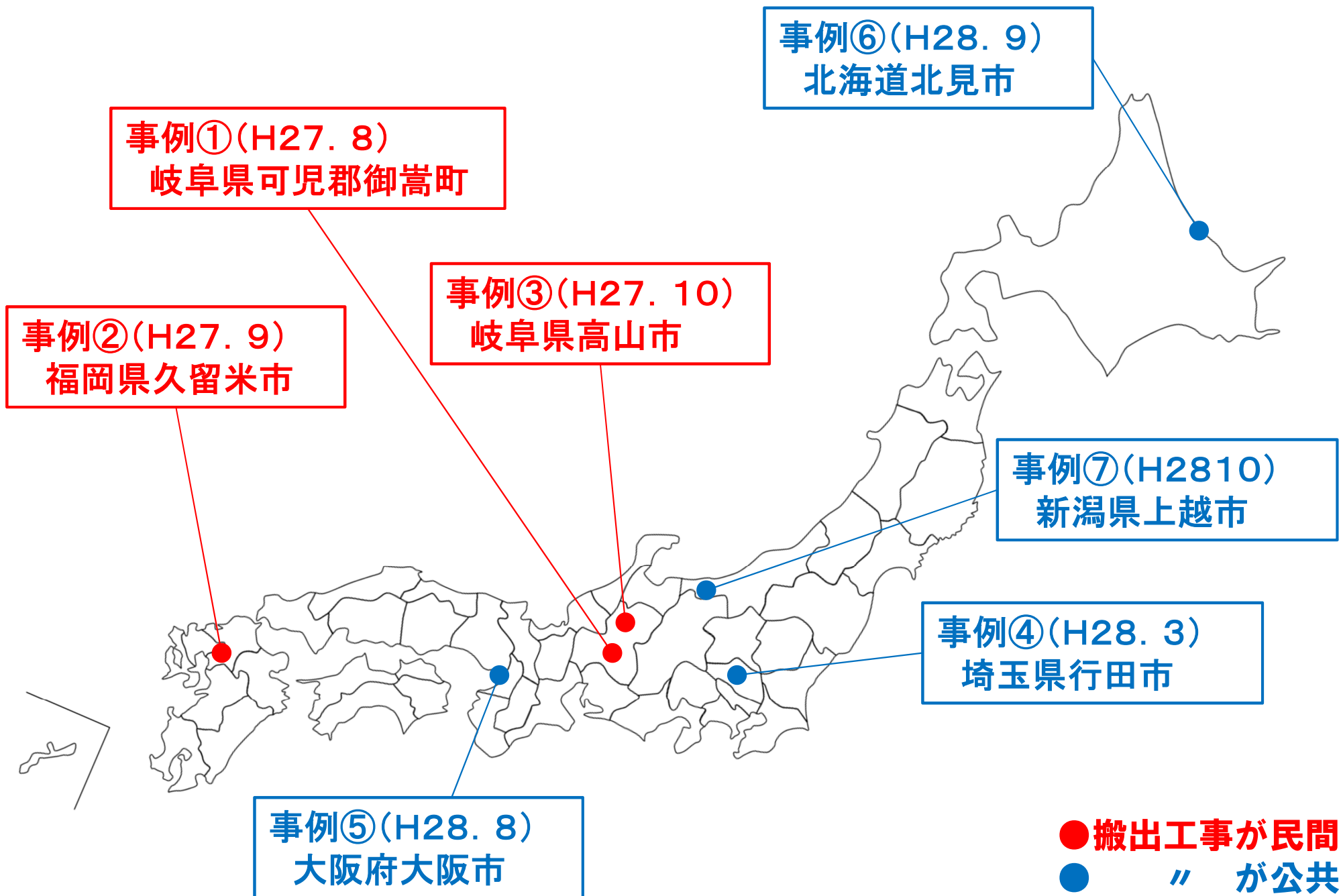
①工事の絞り込み
土質区分と工期で対象工事を抽出

③並び替え、分類分け

■ H28年12月時点で、**7件のマッチングが実現**。

No.	調整年月	搬出工事		搬入工事		現場間 距離 (km)	土量 (m ³)
		機関	工事場所	機関	工事場所		
事例①	H 27.8	全建加盟企業	岐阜県可児郡御嵩町	国土交通省	岐阜県可児郡御嵩町	7	815
事例②	H 27.9	日建連加盟企業	福岡県久留米市	国土交通省	福岡県久留米市	0	1,000
事例③	H 27.10	日建連加盟企業	岐阜県高山市	国土交通省	岐阜県高山市	6	7,548
事例④	H 28.3	地方自治体	埼玉県行田市	全建加盟企業	埼玉県羽生市	5	17,000
事例⑤	H 28.8	地方自治体	大阪府大阪市	日建連加盟企業	大阪府大阪市	9	7,115
事例⑥	H 28.9	国土交通省	北海道北見市	その他民間	北海道北見市	0.2	8,000
事例⑦	H 28.10	国土交通省	新潟県上越市	その他民間	新潟県上越市	5	23,000





■ 民間工事からの建設発生土を公共工事の盛土材として使用

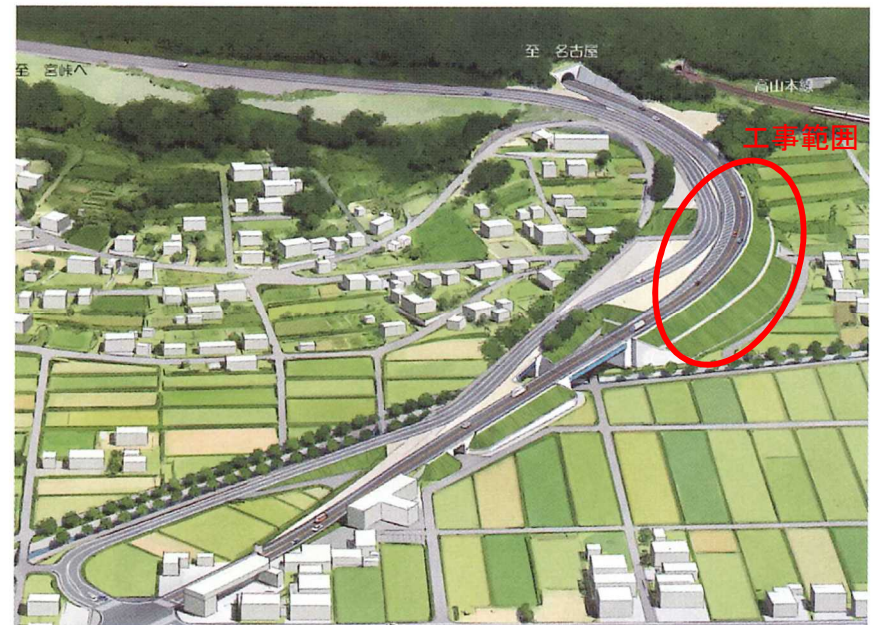
《搬出側(民間)》

建築物の地下空間の建設工事で大量に発生する建設発生土



《搬入側(公共)》

道路の路体用盛土として建設発生土を利用



約7,500m³利用

利用時期：平成27年10月

■ 公共工事からの建設発生土を民間工事の埋め戻し材として使用

《搬出側(公共)》

地方公共団体が発注した下水道管渠築造工事



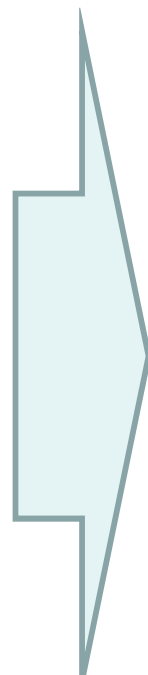
【登録条件】

登録土量: 24,664m³

土工期: 2015年2月～2015年7月※

土質区分: 第2種建設発生土

※掘削時の工期であり、その後仮置場に存置



約7,100m³利用

利用時期: 平成28年8月

《搬入側(民間)》

解体工事の地下室撤去埋め戻し材として利用



【登録条件】

登録土量: 14,000m³

土工期: 2016年07月～2016年10月

土質区分: 第3種建設発生土

建設発生土の発生箇所等について



■ 公共工事からの建設発生土を民間工事の埋め戻し材として使用

《搬出側(公共)》

国が発注した浚渫工事



《搬入側(民間)》

民間所有施設の周辺整地用土砂として受入



【登録条件】

登録土量: 14,700m³

土工期: 2015年3月～2017年2月※

土質区分: 第2種建設発生土

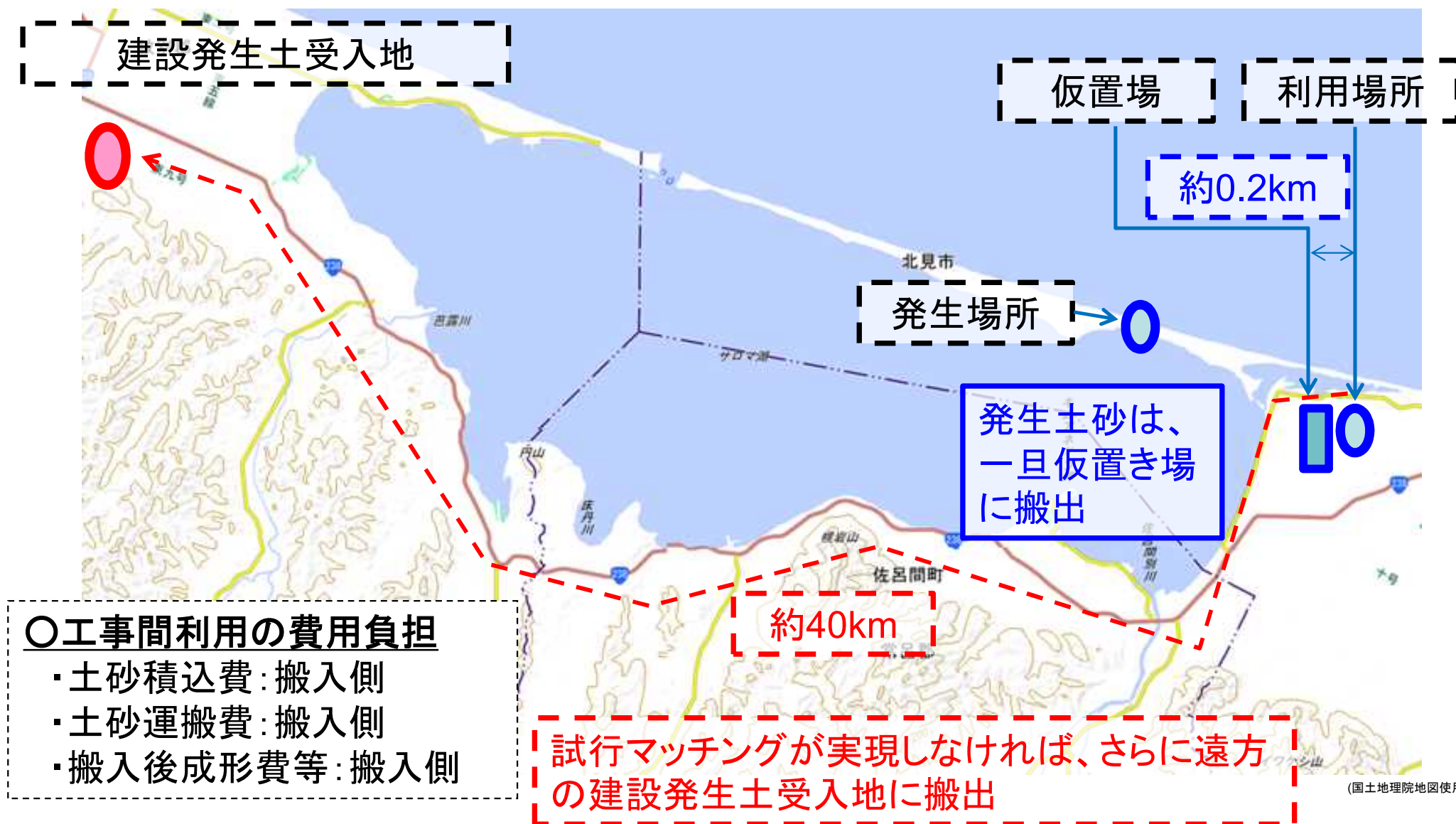
※掘削時の工期であり、その後仮置場に存置



約8,000m³利用

利用時期: 平成28年9月

建設発生土の発生箇所等について



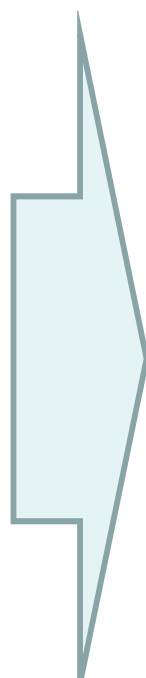
《搬出側(公共)》

国が発注した河道掘削工事



【登録条件】

登録土量: 21,000m³(当初)
土工期: 2016年08月～2016年12月
土質区分: 第2種建設発生土



約23,000m³利用※
利用時期: 平成28年10月

※平成28年度分。平成29年度についても別途マッチング見込み

《搬入側(民間)》

土地区画整理工事の盛り土として利用



【登録条件】

登録土量: 50,000m³
土工期: 2016年10月～2017年12月
土質区分: 第2種建設発生土

- 試行マッチングの実現によるコスト削減効果は以下のとおり。
- 7件で、搬出側：約232百万円、搬入側：約240百万円の削減効果があった。
(費用は事務局試算)

	地方	削減額(百万円)	
		搬出側	搬入側
事例①	中部	2	2
事例②	九州	4	2
事例③	中部	35	30
事例④	関東	97	52
事例⑤	近畿	37	18
事例⑥	北海道	45	6
事例⑦	北陸	12	130

※一定の仮定の下で事務局が試算(概略)したものであり、精査が必要

【計算の考え方】

○搬出側

- ・処分費(建設発生土の受入費が削減)
- ・運搬費(運搬距離の低減による費用削減)

○搬入側

- ・購入費(土砂の購入費が削減)

■ マッチング検討ワーキングにおける議論内容は、次のとおり。

- 現時点では、全会員に取組が浸透しているわけではないので、継続してPRしていくことが必要である。
- 受注者にとっては、コストメリットだけでなく、建設発生土の適正管理や環境負荷低減効果などもメリットとなる。
- 建築工事は工期的な制約やスペースの制約があるが、自由度のある公共工事との調整であれば、マッチングが行える場合もあるかもしれない。
- 公共工事において、施工業者からの提案によってマッチングが実現した場合は、受注者から発注者に対してPRを行い、発注者が適切に評価することが望ましい。
- 現在は事務局から個別に工事間距離情報を提供しているが、本格運用に向けては、自動的に距離計算ができるような仕組みづくりを検討してはどうか。



H29年度についても継続して試行を実施

- 未参画企業のうち、11社がH29.3までに参画を予定。
- 4社が「参画見合わせ」と回答。
- 約半数の企業については、参画意向等は現時点で不明(未回答)

日建連加盟企業の参画意向(139社)

※うち1社は、土木、建築部門それぞれで回答

